

二葉 東京支部だより

二葉同窓会東京支部は元気です

東京支部長 内田志づ子



長野県諏訪
二葉高校同窓
会東京支部は
創立から六十
四年になりま

す。現在支部会員は約三千五百名、多くの大先輩のみなさんに支えられて、発展してきました。東京支部の特徴は、世代を超えて、母校や郷里に対する熱い想いや、郷里を離れた会員の心境を同郷であるが故に汲みあげることのできるコミュニティの場になっていることです。

また、郷里を離れて活躍し、多くの経験を重ねた会員同士の有益な情報交換の場にもなっています。近年、どここの支部同窓会もそうですが、東京支部も会員数の減少に苦しんでいます。その要因の一つとして母校の卒業生数は閉校にならない限り増加しているはずですが、個人情報保護が前面に押し出され、会員の所在、動向が把握できないことです。昨年度、本部分名簿との照合により判明した約百名の東京支部在住と思われる未加

入会員に入会を呼びかけたところ、十一名の若い方が新規会員になって下さいました。ささやかですが、嬉しいことです。同窓会の存在を意識するのは、私もそうでしたが、還暦近くになって、仕事も家庭も一区切りついた頃です。若い頃は、

毎日の生活に手一杯、現実重視が優先し、過去を懐かしむような同窓会は少し敬遠気味でした。多忙を理由にことごとく参加する機会を断っていました。年齢を重ね、やっと多忙から解放され、一抹の寂しさを感じる頃、長い年月を一瞬で乗り越えられる同窓生の心地よさ、安心感に気付いた次第です。東京支部は一昨年度より若い世代にも親しみやすい会を目指して、さまざまな企画を行ってきました。幸いなことに、多くの会員の方が協力して下さい、活発な運営を行うことができました。

同窓会活動をスタートするのは遅くとも構わない。ただ、同窓会の絆だけは若いうちからつくっておきたいと考えます。

今年度もよろしく願います。

平成26年

総会報告

東京支部副支部長
石上美保

平成26年5月18日(日)東京支部総会が日本青年館において、出席者185名を持って開催されました。来賓として母校田澤直人校長先生、本部より原美子同窓会長、宮澤みち子、宮澤節子、伊藤すぎ子各副会長にお越しいただきました。小松副支部長の開会挨拶、校歌斉唱、続いて25年度物故者の皆様に謹んで黙祷を捧げました。

議事に先立ち、内田支部長より、支部長三年目に当たり、昨年度まで進めてきた改革の更なる充実を図り、次の代に繋げていきたい旨の挨拶があり、ご来賓の田澤校長先生、原同窓会長より、ご祝辞を賜りました。

議事は、議長に土屋郁子さん(22回生)が選任され、25年度事業報告、決算報告、監査報告、26年度役員、事業計画、予算、内規の一部改正等が承認されました。

第二部は、笠井信輔氏(フジテレビアナウンサー)をお招きし、「震災報道の裏側」〜報道人として、人として〜題して、東日本

大震災の報道体験をお話していただきました。現地の生々しい状況や、報道者としての苦悩などがかがいがいながら、震災当時の状況がよみがえり、会場全体が静寂の中、笠井氏のお話に聞き入りました。

第三部の茶話会では、今井由美子さん(25回生)のミニ・コンサートでの美しい歌声に心癒され、引き続き高校5回生の15名の皆様の八十歳をお祝いして、花束を贈呈しました。代表して白川道子様よりご挨拶をいただきました。最後に全員で「白き翼」を歌い、閉会しました。

総会が滞りなく進行できましたことを、役員一同心よりお礼申し上げます。

祝傘寿 (P2に続く)



平成26年
総会講演

『震災報道の裏側』

（報道陣として、人として）

笠井信輔氏
（フジテレビ アナウンサー）

笠井信輔さんの紹介

テレビでお馴染みの笠井信輔アナウンサー。1999年からフジテレビ「とくダネ」に出演されており、MCを務める小倉さんをお相手に、分かりやすい解説、常に正確な報道を心がけておられる姿は、皆さんもご承知のことと思います。笠井さんご自身は東京生まれの東京育ちですが、お母様とのお姉さま（双子姉妹）が高校10年生、母方のお祖父様も諏訪出身の劇作家阿木翁助氏で、諏訪に深い縁があります。お祖父様は旧制諏訪中学の同期に小説家の新田次郎氏がおられるなど交友関係が広く、園遊会に出席されるなど、まさに地元の名士で、昭和49年には東京支部総会で講演をされました。



お母様、伯母様、お祖父様のお話や、第三部の茶話会でミニコンサートとして下さいました今井由美子さん（高校25回生）は、笠井さんのエレクトーンの先生ということで、ご講演は諏訪と関わりが深いひとときとなりました。

震災報道について

東日本大震災の余震なのか、東京でもまた地震が増えてきたような気がします。笠井さんが報道者として経験してこられた二度の大震災の生の声。救助を求める人々を前に報道人として直接手を貸すことのできない板挟みの苦しさ。現場と局との温度差からくる葛藤など、テレビでは話せないことを語って下さいました。

阪神大震災

1995年1月17日。当時31歳。当日12時に現地入りしたそうです。混乱の真つただ中、取材拒否を覚悟も、「助けて」「警察を呼んで」「等」「救出か取材か」の壁に突き当たりました。しかしひたすら謝りながらの取材だったのを昨日のことのように覚えていたのようです。

東日本大震災の現場

そして2011年3月11日。12時間かけて陸路仙台に。翌日昼には被災地入り。それから1ヶ月。極限状態での取材でした。津波の被害は建物も人々の心も想像を絶する悲惨さでした。

阪神大震災も現地は地獄のような風景でしたが、ただ街は甦ると確信していました。神戸には被災地としての悲しい活気があったそうです。だからどんなに悲惨でも泣くことはありませんでした。

東北の被災地では一日1回は涙していたそうです。物音一つせず静まりかえって、人々は怯えていました。救出活動もまばらで、瓦礫ばかりの町を見渡して出た言葉は「壊滅状態」津波の到達点の内

と外では、別世界のような恐ろしい光景でした。

3日目（翌日）の朝、仙台宮城野区で、初めて津波に巻き込まれた方にインタビュー。車で流された九死に一生で助かったご一家。一晩車の上で寒空の中、ご近所のおじいさんと励ましあって耐え所した。でも、そのおじいさんは亡くなっていました。笠井さんは、泣き崩れた奥さんの背中をさすって慰めるだけで、何もできなかったそうです。

生涯忘れることのできない避難所は、東松島地区の「野蒜（のびる）小学校避難所」です。遺体安置所となった体育館は、やつとの思いで避難してきた地域の皆さんが、体育館の中に押し寄せた大津波が一瞬にして飲み込まれた現場でした。幼稚園の若い先生達も、七人の園児を守ることと一杯で、子ども達が生き残るためにお年寄りを救えなかったのです。園児達と見た地獄のような津波、笠井さんもおもわず涙ぐみ、（会場ではすすり泣く方が多くいました）この安置所には、無念の思いが渦巻き、入口まで行ったものの入ることができなかつたそうです。あまりにも悲惨で、マイクを向けることができませんでした。子ども達がこの辛い思いを早く忘れることができるように願いました。でもこの子達は、生かされた命、震災の現実を伝えるべく残つたのでも、忘れずに伝えていってほしいとも思っています。

報道の立場にいる人間として

伝え続けることとは、その限界もあり、日々変化する出来事に移ろっていきます。取材中に知り合いい仲良くなった方も多数います。その後も連絡を取り、お会いすることもあり、皆さん喜んで下さいます。（そこは本当に笠井さんのお人柄ですね）あれから三年が経

ち、復興の現状としては、地域により進み具合に差がありますが、着実に歩み始め前進しています。

笠井さんの著書「僕はしゃべるためにここへ来た」（産経新聞出版）には、1カ月の取材中に体験した、テレビでは話せないことも多く書かれており、報道人としてもこれからも伝えていくことの大切な想いが伝わってきます。本書の印税は産経新聞厚生文化事業団を通じて東日本大震災の救援金として全額寄付されています。

笠井さんの誠実で温かい人柄が、伝わり、熱い思い溢れる講演会は、

傘寿の方からのメッセージ

（高校5回生）

大塚之恵さん

きめ細やかなご配慮、心より御礼申し上げます。五回生は、第二次世界大戦の始まった昭和十六年に一年生（国民学校と名称変更）に入学。五年生で敗戦という激動の時代を過ごしました。学制改革で新制二葉高校に入学し、男女共学で鍛えられた新一年生に、お姉さま方はびっくりされたことと思います。三年間大根坂を通学したこと、桜が美しかったこと、八十歳になった今日でも昨日のことのように思います。

お元氣な同窓会役員の負担は軽くし、いつまでも続くことを願っています。会費は低・中・高と三段階位にランク付けしても、と考えます。

鎌谷幾惠さん

役員の皆様色々とお難うございました。昭和五十年代に、三年幹事として東京支部にかかわり、勉強させていただきました。その頃は八十歳など遠い遠い先と思っていましたのに、光陰矢の如しです。

あつという間に時が経ちました。

笠井さんの著書より

「この地が再び立ち上がるために、やるべきことがあります。（きつい思いを）言葉にしなればならない。（悲惨な光景を）リポートしなければならぬ。（悲しみ苦しむ）被災者に声を掛けなければならぬ。なぜなら、僕は、しゃべるためにここ、被災地に来たのだから」（高橋みどり）

お祝いしていただき、素敵なお花を頂戴し、感慨無量です。諏訪二葉同窓会東京支部の総会に出席する度に、進行の手際よさ、まとまりの良さに感心しています。素晴らしい後輩に引き継がれていて安心しています。時を経ると母校への思いが強くなるのか、母が生前二葉の出身を誇らしげに話していたことを思い出します。お礼が遅くなり申し訳ありません。ご健勝をお祈り申し上げます。

白川道子さん

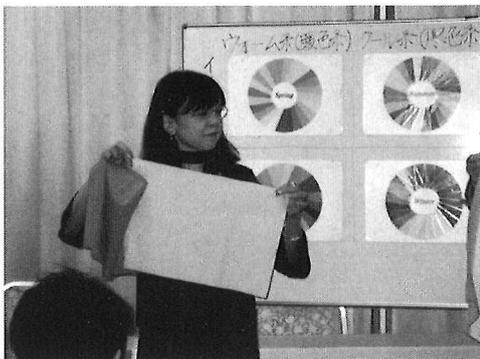
四季折々の自然豊かな諏訪の地に、伝統ある諏訪二葉高校で過ごした三年間は、人生の中で最も貴重な一頁でした。科目ごとにユニークな先生方との出会いがあり、勉強の他クラブ活動も盛んでした。昭和二十八年、私たちが卒業の春には、立派な校歌が作られ、みんなで合唱したことを懐かしく思い出しております。その時二葉会により編集された「しらかば」という手のひらサイズの歌集は、今でも愛用しております。総会の折には、すてきなメッセージカードとお花をありがとうございます。

特別企画

平成二十五年度に開催された二回の幹事会では、経過報告や議事の他に、会員同士が楽しみながら親睦を図れる特別企画を取り入れてみました。私たちの関心事の一つ「アンチエイジング」をテーマに、講師の先生を招いて楽しく学びました。

10月22日「色を遊び、おしゃれを遊ぶ
カラーコーディネート」

講師・カラーアナリスト 田雑美江子氏



最初に、色が持つ力のお話。例えば赤は自然界に多くある色で、赤を好む人は社会的、政治家などリーダー格の人に多く、エネルギーッシュ。赤には血液循環をよくし身体を暖める働きがあります。黒は自然界には少ない色で、老化促進色、頑固な人が好む色ともいわれています。しかし、高級感もありコーディネートしやすいため、黒の中に赤を取り入れると色が持つ力としてバランスがよくなるそうです。

次に具体的な色選びのお話です。人の色と調和する色調は、髪、肌、瞳の色に影響を受け、四つのタイプに分けられます。季節で例えると、「春タイプ」はウォーム系

イエローアンダートーン(ベースにイエローが入っている色)で明るい色調(例をピンクにすると、コラルピンク)、「夏タイプ」はクール系ブルーアンダートーン(ベースにブルーが入っている色)で明るい色調(ローズピンク)、「秋タイプ」は春タイプの色に深みとシックさを加えた色調(サーモンピンク)、「冬タイプ」は夏タイプの色を鮮やかにした色調(シヨッキングピンク)で日本人には少ないタイプです。
ご講義の後は助手の方お二人もアドバイザーに加わり、一人ずつ実際に襟元に四タイプの布をあてて一番似合うタイプを選んでいただきました。同じ青色でも、顔映りが全然違ってみえることに驚いたり、自分が似合うと思っていたタイプの色と違うことを知り新たな発見に嬉しくなったり・・・会場はとても華やき、和やかな雰囲気になりました。楽しいひとときでした。
洋服やスカーフなど、特に顔の近くに身に付けるものを探す時、自分に合う色を知っていると面白い物が楽になるそうで、先生は色見本を持ち歩いておいてとのこと。四タイプの色があることを参考に、いくつになっても自分を輝かせるおしゃれを楽しみたいですね。



田雑美江子氏プロフィール
大手化粧品メーカーにてビューティアドバイザー、人材育成指導を担当。子育てが一段落して「オレンジ・ド・エメール・カラーリスト養成スクール」に入学。卒業後、同校の非常勤講師として7年間勤務。一方で「フォリッジ グリーン」設立、代表に就任。カルチャー・スクール、専門学校、化粧品メーカーのイベントなどで「カラーコーディネートセミナー」を担当。厚生労働省認定講師として行政機関にも派遣されるなど、多岐に活躍。

2月25日「体幹を意識したゆったりストレッチ
骨盤の動きを中心に」

講師・舞踊家 中島晶子氏



ダンスソロの公演(自身で演
出・振付・出演)、振付家作品のオペラに出演、様々なジャンルのアーティストとのコラボパフォーマンス、その傍らで子供達にダンスを教えたり、大人の為のストレッチ指導でご活躍の中島先生をお



迎えして、「ゆったりストレッチ」を学びました。
ストレッチは苦手、という意識がありました。先生から「仕事や趣味の登山で信州を訪れ、岡谷で合宿した時に火花を見たり、霧が峰の帰りに手長、足長神社にお

詣りしたり、諏訪の神社の歴史を学びました。」と諏訪ゆかりのお話を伺い、すっかり「心のストレッチ」ができてしまいました。
そして、先生のご指導に合わせ、骨盤を意識したストレッチをゆつくり行いました。普段使わないう身体部分を伸ばしたり、深く曲げたり、捻ったり、片脚立ちでバランスをとったりしました。呼吸を意識しながら「ゆつくり動かし」動作が続きます。良いストレッチは体幹をしっかりと作り、やり終えて気分がスッキリするもの。無理は禁物ですが、ポジティブイメージを描きながら、身体に多少の負荷をかける「痛、気持ちいい」程度に行うことが丁度良いことです。確かに、日頃生活では「ゆつくり伸ばす」という動作が少ないことに気付かされました。教えていただいたことを、日常生活の中にもちよつと意識して取り入れてみたいものです。
いろいろなタイプのストレッチを次々にこなしていく会員の皆様、心も身体も若いなあと思えました。終了後、「皆さん身体がよく動きますね。」と中島先生も驚いていらつしやいました。

諏訪二葉同窓会東京支部の皆様、本当に元気ではつらつしています。これからも益々心身ともに健康で輝いていきたいですね。

中島晶子氏プロフィール
福岡県出身。お茶の水女子大学舞踊教育学科(現在は芸術・表現行動学科)卒業。
舞踊家、ICU高校保健体育科講師、光塩女子学院初等科講師、愛心幼稚園課外ダンス講師、「ゆつたりストレッチの会」主宰。

平成25年度諏訪二葉高等学校同窓会東京支部決算報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	収入	備考
1 前年度繰越金	3,179,361	3,179,361	
2 維持費	1,200,000	1,101,000	
3 寄付金等	0	20,078	高校4回生(四葉会様)
4 雑収入	1,000	1,354	預金利子
収入合計	4,380,361	4,301,793	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	支出	備考
1 総会講師謝礼・お車代	130,000	130,000	
2 会場費・諸経費	170,000	50,811	総会資料印刷代、会場費等
3 支部便り作成費	140,000	102,950	「二葉」第18号2000部
4 弔慰金	10,000	1,800	弔電レタックス
5 役員通信費・交通費	160,000	146,960	役員通信費58,000円、役員交通費88,960円
6 役員会費	140,000	143,556	役員会8回
7 幹事会費	220,000	283,985	幹事会2回
8 送料・通信費	350,000	469,931	往復はがき代(総会案内、幹事会案内)、宅配便等
9 印刷・コピー費	140,000	61,965	役員会資料等
10 事務用品費	10,000	3,733	パソコン用CDRW、のし袋、のり等
11 渉外二葉関係	30,000	20,380	本部総会交通費
12 連合同窓会	100,000	68,100	東京同窓連、南信同窓連
13 雑費・予備費	10,000	3,210	振込用紙印字代、銀行振込手数料等
支出小計	1,610,000	1,487,381	
14 次年度繰越金	2,780,361	2,814,412	
支出合計	4,390,361	4,301,793	

平成26年度 諏訪二葉高校同窓会東京支部予算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 本会計

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 前年度(25年度)繰越金	2,814,412	
2 維持費	1,000,000	
3 寄付金等	0	
4 雑収入	1,000	預金利子等
収入合計	3,815,412	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	予算	備考
1 総会講師謝礼・お車代	140,000	
2 会場費・諸経費	300,000	日曜開催に伴い会場費25万円増額
3 支部便り作成費	140,000	支部便り印刷作成に伴う費用
4 弔慰金	10,000	弔電レタックス
5 役員通信費・交通費	160,000	役員通信費53,000円、交通費107,000円
6 役員会費	150,000	役員会、会場費(土日に役員会開催も考慮)
7 幹事会費	270,000	幹事会1回分
8 送料・通信費	400,000	総会案内・幹事会案内往復はがき代、宅配便等
9 印刷・コピー費	100,000	封筒・資料印刷代、インク代、コピー代
10 事務用品費	10,000	事務用品代
11 渉外二葉関係	30,000	本部総会交通費
12 連合同窓会	100,000	東京同窓連、南信同窓連、会費交通費
13 雑費・予備費	10,000	維持費振込用紙印字代他
支出小計	1,820,000	
14 次年度繰越金	1,995,412	
支出合計	3,815,412	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	備考
1 前年度繰越金	3,052,000	25年度から積み立てを止めたのでこの金額は動かない
合計	3,052,000	

2. 東京支部同窓会基金

(単位：円)

項目	予算額	実行額	備考
1 前年度繰越金	3,052,000	3,052,000	
2 25年度積立金	0	0	
合計	3,052,000	3,052,000	次年度繰越金

上記の通りご報告いたします。 上記は会計監査の結果間違いありません。
 平成26年3月31日 会計係 小楢山 恭子 ㊞ 平成26年4月11日 会計監査 竹本 恵子 ㊞
 熊崎 文江 ㊞ 杉本 澄江 ㊞ 岩附 喜美子 ㊞

平成26年 諏訪二葉高校同窓会東京支部総会会計報告
 平成26年5月18日 開催

〈収入の部〉

(単位：円)

項目	金額	備考
1 会費	1,170,000	6000×191名(出席185名、欠席6名) 茶話会のみ2000×12名
2 御祝儀	20,000	本部より
3 本会計より	239,214	
合計	1,429,214	

〈支出の部〉

(単位：円)

項目	金額	備考
1 講師謝礼・お車代	140,000	
2 宴会費用	1,220,432	(株)シダックスマネジメント 会場費 222,000 飲食代 789,300 設備費 16,000 税サービス料 193,132
3 お礼	10,000	シダックスマネジメント様
4 総会冊子印刷代	14,490	総会冊子200冊 印刷機使用料、用紙代
5 雑費	44,292	ポスター三角柱作成費 贈呈用花束等
合計	1,429,214	

上記の通りご報告いたします。 平成26年5月30日
 会計 小楢山 恭子 ㊞
 熊崎 文江 ㊞
 杉本 澄江 ㊞

平成26年度 諏訪二葉高校同窓会東京支部事業計画

1 主な会議・会合

5月18日(火)平成26年度 定期総会
 6/14(土)、6/27(金)、7/25(金)、9/26(金)10/31(金)、
 27年1/23(金)2/27(金)、3/27(金)4/24(金)5/10(日)役員会
 10月 東京支部だより「二葉」第19号発行
 11/14(金) 拡大幹事会

27年 5月12日

平成27年度 定期総会

会場「ホテルメトロポリタンエンドモント」(JR飯田橋駅 東口)

2 主な事業 課題への対応

- ①若い世代(男性会員を含む)の会員の拡大
 会員名簿の照合と新規加入会員の開拓
 総会会費の減額、同期会開催支援
- ②魅力ある同窓会行事の開催 講演会、特別企画等の充実
- ③時代に対応した会の運営方法への改善
 会員の活動の紹介と応援(広報紙、総会冊子への広告掲載等)
 総会、役員会等の土日開催
 二葉本部との連携方法の検討(名簿、予算)
 メーリングリスト作成、メールでの情報発信

広報紙等への広告掲載希望 募集(名刺大 3,000円)
 会員本人に限る 毎月発行部数 約2000部

- ②同窓会東京支部役員の方についての再検討
 事務局の固定化、役員任期の延長、総会担当を同期会での実施案等検討
- ④東京支部活動場所の確保

平成二十六年度

役員紹介

- ①出身地 ②出身中学校
- ③高校時代の部活等
- ④趣味・関心事
- ⑤東京支部同窓会への抱負

支部長

内田 (上條) 志つ子 (高21回)

①岡谷市②岡谷北部中③バスケット部・生徒会④スポーツ全般(今は観る方)⑤元気で活力のある同窓会に

副支部長

小松 (小松) 喜久子 (高21回)

①富士見町②長野裾花中③音楽部④手芸・テレビ体操⑤伝統を大切にしながら若い世代が参加しやすい同窓会にしたい。

副支部長

石上 (田中) 美保 (高23回)

①辰野町②辰野中③合唱部④声楽・温泉旅行⑤若い世代に繋げられるような魅力ある同窓会に。

副支部長

渡邊 (五味) 周子 (高23回)

①諏訪市②上諏訪中③合唱部④音楽⑤微力ながら東京支部の発展にお手伝いできればと思います。



会計

伊藤 (金子) みすゞ (高27回)

①諏訪市②上諏訪中③放送委員会④コーラス・音楽⑤盛会を願っています。



会計

龍田 (齋藤) 由織 (高27回)

①諏訪市②上諏訪中③放送委員会④長唄・講演⑤何とか若い方たちが参加してくださるような同窓会に。



記録

高際 (轟) みどり (高32回)

①岡谷市②岡谷西部中③放送委員会・フオークソングクラブ④コーラス・ドライブ・旅行⑤同窓会東京支部での新しい出会いに感謝しています。微力ですが、二葉生のつながりのために力を尽くしたいと思っております。



記録

彰 (増井) 陽子 (高32回)

①下諏訪町②下諏訪中③放送委員会・フオークソングクラブ④バレエ・クラシック鑑賞・刺繍⑤先輩方とのご縁に感謝して、お教え頂きながら、同期三人で楽しく一年間頑張ります。



記録

川尻 (下山) 敬子 (高32回)

①下諏訪町②下諏訪中③フオークソングクラブ④ポーセリン・ヨガ⑤先輩方に見習い、色々と勉強しながら仕事を



させていただきます。

会計監査

竹内 (荒崎) 誠子 (高25回)

①岡谷市②岡谷北部中③心理学クラブ④読書・料理、人間関係の心理⑤みんなと協力して仕事をしていきたい。

会計監査

村松 (白鳥) 多寿子 (高25回)

①岡谷市②岡谷北部中③考古学クラブ④消防団・トレッキング⑤持続性のある同窓会にしたいと思います。

南信同窓連理事 (会長)

宮川 (落合) 秀世 (高8回)

①諏訪市③二葉会役員・社会部④「書」を読み解くこと⑤他校との連携と友好に努め、伝統ある東京支部のために微力ながら尽力する。

南信同窓連理事

中坪 (小沢) 清子 (高18回)

①岡谷市②岡谷南部中③社会部④海外・国内旅行、登山、手芸、フオークソング⑤若い人たちに魅力ある同窓会をつくることの一助になりたい。

平成26年 諏訪二葉高校同窓会東京支部 代表幹事名簿

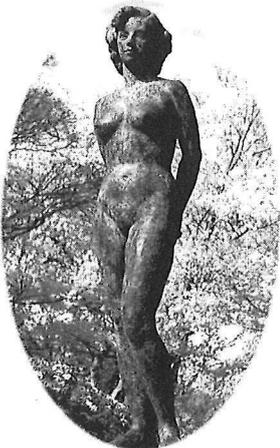
2014.8.1現在

卒業 (高校回数)	氏名	旧姓	電話番号	卒業 (高校回数)	氏名	旧姓	電話番号
6	文伝 正子	松井	03-3816-0905	25	五味 のりほ	牛山	042-335-5533
7	小平 ミキ子	伊藤	042-301-2583	26	小檜山 恭子	藤森	03-3710-0237
8	東(ヒガシ)征	岩波	049-294-3237	27	鈴木 泉	河田	044-701-1766
9	堀川 節子	中沢	047-463-3547	28	原 素子	原	03-5370-3082
10	三浦 一重	安達	042-536-9505	29	櫻井 佳代子	河西	03-3976-4772
11	守屋 静子	寺平	03-3328-7752	30	谷口 文	宮坂	044-945-4450
12	小池 千恵子	中村	03-3302-1124	31	松木 きよみ	山田	042-675-4661
13	伊藤 久子	熊井	0467-73-2208	32	高際 みどり	轟	090-2732-3883
14	永田 福子	牛山	042-373-3476	33	藤森 ゆり子	塩原	03-6762-4882
15	北村 幸子	小沢	048-824-5675	34	池上 敦子	浜	
16	西村 真由美	矢島	0297-72-8921	35	新堀 千春	小松	045-475-1911
17	竹村 さえ子	佐藤	042-395-3120	36	川口 洋子	藤森	042-958-2318
18	杉浦 澄尾	河西	03-3957-3203	37	杉原 佳容	河上	045-361-6741
19	西村 直子	五味	045-932-2416	38	大高 さち子	宮坂	090-5415-1686
21	杉本 澄江	柳沢	044-422-5901	39	大庭 節子	細田	042-728-4066
22	山下 操	林	080-5488-7075	40	藤井 みさき	太田	03-3857-5318
23	宇田川美和子	五味	047-378-8550	41	津田 恵美	小林	043-484-1229
24	鈴木 ひさ	高橋	03-3600-5761				

(電話番号掲載については、ご本人にご協力いただきました)

平成27年 東京支部総会のお知らせ

日 時：平成27年 5月12日（火） 11:00～15:00
 会 場：ホテルメトロポリタンエンドモント（飯田橋） ☎ 03 - 3475 - 2525
 1 講 演 講演講師：柳澤寿男 氏（バルカン室内管弦楽団音楽監督
 コソポフィルハーモニー交響楽団首席指揮者）
 （下諏訪町出身）
 演 題 「旧ユーゴスラヴィア・共存共栄へのハーモニー」
 2 総 会
 3 茶話会
 会 費：6000円（昼食パーティー）
 ※総会参加申込は平成27年3月末、往復ハガキでご案内します



「すこやか」像



平成二五年十一月十六日十二時、東京支部三十回生八人と長野から四人、計十二人の二葉っ子が集う。顔を合わせて三分後に...

高校30回生 同期会報告 （高30回 谷口 文）

には全員顔と名前が一致して空白の時を飛び越えました。食事の席に移動して席順を決める。「誕生日順に並べ」。幹事の声掛けであつという間に着席です。隣り同士と、お向かいと、テーブルの端まで会話が飛び交う。素敵な飲茶と美味しいワインも手伝って、近況報告から始まり、友達、正副担任・体育・家庭科・苦手な教科の先生方の情報が溢れ出す。大根坂を共に通った三年間は、私たちに共通の土台を築いている。食事タイムは瞬く間に過ぎたけれど、その後はヒルズの美術館で現代アートを鑑賞し、展望台から眺望を楽しみ、またティールタイム。場所を移すたび、思い出の話題も次々と変わる。会報や卒業アルバムを見ながら会話は尽きず、気が付けば窓外の東京タワーはライトアップされています。残念ながら参加できなかったメンバーからの通信が紹介されて。連絡先を交換して。私たちの七時間に亘る再会の日は次の集まりを誓い合い、新しいステップを踏み出したのでした。みんな、またすぐに会おうね！

☆お忙しい中、原稿執筆にご協力いただいた皆様に感謝いたします。

☆東京支部便りは、一昨年より十月に発行することとし、過去五年以内に一度でも維持費を納入された方にお送りしました。
 ☆東京支部は年千円の維持費で活動しています。同封の青色の払い込み用紙にて、引き続き納入にご協力お願いいたします。なお、本部維持費とは別の納入になります。
 ☆クラス会、同期会を新たに開催する場合は、役員または代表幹事にご相談ください。
 ☆来年度は、定期総会の会場が、日本青年館からホテルメトロポリタンエンドモントに変わります。

事務局だより

謹んでご冥福をお祈りいたします
 平成25年9月から平成26年8月までにご連絡をいただいた方々です。

宮阪 久子様 (河西)	高女23回	塩原 刀子様 (小口)	高校4回
伊東 すみ子様 (小口)	高女24回	利根川 佐智子様 (名取)	高校5回
松川 光子様 (出浦)	高女25回	今井 朱美様 (長岡)	高校7回
山田 絹江様 (藤原)	高女27回	石毛 尚子様 (両角)	高校7回
大島 もり子様 (伊藤)	高女27回	柿澤 千江子様 (白鳥)	高校7回
荒木 文子様 (荒木)	高女29回	清水 光子様 (松木)	高校8回
五味 志津可様 (佐伯)	高女33回	丸茂 町子様 (丸茂)	高校8回
佐藤 真砂様 (伊藤)	高女33回	牛山 美智子様 (原)	高校9回
浅川 絢子様 (有賀)	高女33回	鈴木 奈保美様 (小松)	高校10回
高田 麗子様 (平島)	高女37回	利光 幸子様 (加藤)	高校17回
		小林 道子様 (諏訪)	高校27回

《役員連絡先》

	TEL・FAX
支 部 長 (内田)	042・423・4598
副支部長 (小松)	045・584・7287
副支部長 (石上)	047・395・6944
副支部長 (渡邊)	045・943・5006